

ご寄付のお願い

橋立の歴史を 未来につなごう

天橋立

「松並木」の保全

国の特別名勝に指定されている天橋立。

「白砂青松」と例えられる天橋立の松並木が

消滅の危機に瀕しています。

京都府では、地域の方々と共に

この松並木の保全活動を行っています。

活動内容

- 6万7千本ある松の剪定作業
- 松枯れに繋がる病害虫の駆除
- 天橋立全体の清掃活動
- 松以外の植物が繁茂するエリアを中心に腐植土除去



天橋立の 「白砂青松」はいつから？

約2000年前(弥生時代)には天橋立の砂州が形成され、松が増え始めたと考えられています。約1000年前(平安時代)以降には現在の松林の原型が出来上がりました。



「松枯れ」とは？



腐植土により栄養が多すぎるため、松が深く根を張らない状況です。松以外の植物が育ちやすく、「松枯れ」が増えてきています。

京都府では、ふるさと納税などによる寄付金を募集しています。
本事業に賛同いただける方はご寄付をよろしくお願いいたします。



事業への寄付金のお願い

問い合わせ先

京都府 建設交通部 都市計画課

075-414-5272

✉ toshi@pref.kyoto.lg.jp